

## 一般研修カリキュラム

コース番号	コース名				期間	
8336	精神・発達障害者支援のためのSST (応用編)				令和6年10月10日(木)～10月11日(金)	
開催会場	職業能力開発総合大学校(東京都小平市)				定員	日数
					15	2
研修種別	訓練の過程	訓練管理	キャリアステップ	2	訓練の要素	受講生管理(指導)
研修のねらい 及び 到達目標	<p>社会生活スキルトレーニング(SST)を活用した精神・発達障害者の支援ができることを目指します。 (到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会生活スキルトレーニング(SST)について、学んだ理論を実践に活かすことができるようになる</li> <li>社会生活スキルトレーニング(SST)の実践の幅(障害者、家族、職員間)や技能を広げることができる</li> </ul>					
最低限 必要な知識	「精神・発達障害者支援のためのSST(基礎編)」を受講された方で、一度でも実践の経験がある方。					
研修内容	項目(予定)				講義(h)	実技(h)
	1 SST基礎編の振り返り (1) SSTの進め方 (2) SSTの技法				1	
	2 アセスメントのツール (1) ワークシートを用いて (2) コインマップを用いて (3) 日頃の面接から				1	1
	3 グループ活動で活用してみたら					1.5
	4 ひとりSSTを活用してみたら					1.5
	5 宿題					1.5
	6 宿題報告					1.5
	7 課題演習ー困り事の解決に向けてー (1) グループを立ち上げたい (2) グループSSTでの困り事 (3) ひとりSSTでの困り事 (4) 家族SSTでの困り事					1.5
	8 困り事からの評価					1
	9 質疑応答				0.5	
				2.5	9.5	
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	SST研修基礎編を受講後、①実際にグループや個別SSTを実施されている方を対象とします。進行する際、当事者からの課題が出てこなかったりで困り事がある方に実技を通して課題を整理していきます。②基礎編受講後、グループや個別SSTを実施しようという方へ、立ち上げ方を実技指導していきます。受講者同士の交流も行います。					
研修成果が 活用できる 職務	職務1		職務2		職務の内容	
担当教員 (ユニット)	外部講師					
使用する 機器等						
受講者が用意 するテキスト (予定)	これまでの10時間研修で使用されたテキストを持参してください。 外部講座で10時間研修を受けた方もその時の資料をお持ちください。					